

新星

Shinsei
2026 Vol.53

2026年2月 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院会報「新星」Shinsei 編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



デイケアメンバーの作品

CONTENTS

- 2 院長の新年のご挨拶
- 3 第70回九州精神医療学会に参加して／「看護のお仕事フェア」に参加
- 4 道ノ尾病院の家族教室について
- 5 CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修を終えて
- 6 職場参観日のご報告／グラウンドゴルフ大会を終えて
- 7 宝塚三田病院の作業療法士によるSST研修体験記／「ルーシーカンパニー」コンサート開催
- 8 デイケア報告

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

新年のご挨拶

院長
松本 一隆



平素より道ノ尾病院、虹が丘病院をはじめ医療法人厚生会の運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年は喪中につき、新年のご挨拶を控えさせていただきますが、日頃より支えてくださる患者様、ご家族の皆様、地域の皆様へ感謝の気持ちをお伝えいたします。

2025年の医療業界は、医療機関、特に病院の経営状況の厳しさが非常に増した1年だと感じています。

日本国内の物価高騰や円安、人件費の高騰などが続く一方で、診療報酬は十分に引き上げが行われておらず、収入以上の支出増加により逆ザヤの状況が広がり、経営圧迫が顕在化し赤字に陥る病院が増加しました。

また、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護需要が急増する中、少子化は進み働く世代の人口は減少を続けています。

医療現場においては、業務効率化や正確な医療情報の共有を目指し、政府が進める医療DX（デジタルトランスフォーメーション）が進められています。

その中の1つがマイナンバーカードを用いた「マイナ保険証」、または各保険者より交付される「資格確認書」での受診を原則とするものです。

12月2日以降、段階的に旧来の健康保険証は利用ができなくなっています。

上記で述べましたように昨年も医療を取り巻く環境は大きく変化し続けていますが、私たちは昨年10月に他界した父（純隆）が掲げた病院の理念「患者第一主義」を忘れることなく、本年も安心して医療を受けていただけるよう努めてまいります。

また、当法人の職員一人ひとりが専門性を高め、チームとして連携を深めることで、より質の高い医療とケアを提供できるよう邁進していきます。

私たち一人ひとりの考動が、地域の医療を守り、発展させる力になることを信じ、真の地域に根ざした病院となれるよう、そして患者様とご家族の皆様が安心して過ごせるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。
皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



第70回 九州精神医療学会
および 第77回 九州精神神経学会

第70回九州精神医療学会に参加しました

■ 会期 2025年11月27日（木）～11月28日（金）

■ 会場 佐賀市文化会館

佐賀県で開催された第70回九州精神医療学会に参加し、さまざまな発表や講演を通して最新の精神医療の動向や他施設の取り組みについて学ぶ貴重な機会となりました。

看護師 中村

佐賀県で開催された第70回九州精神医療学会へ、院内研究発表小員会として発表者の付き添いと、他病院の取り組み・研究に関する見聞を拓げる目的で参加させていただきました。

驚いた内容ではAI（チャットGPT）を活用してBLS（一時救命）のシュミレーターを開発していた病院があった事でした。学習者に応じてAIがリアルに描写する構造の為、自身の思考と決定が求められる事で実践に近い思考過程を体験出来るとの事でした。

参加した事で刺激や興味が沸く様な機会を得られた事に感謝すると共に、発表者も貴重な経験を経た事で今後の自信や意欲向上に繋がれば良いと感じました。

看護師 楠本

今回の学会には共同研究者として参加させていただき、いくつかの演題を聞くことができました。なかでも認知症の方と心地よい刺激を中心に関わる「カンフォータブルケア」と、認知症の方を「1人の人」として尊重し、その人の立場や視点に立って関わることを重視するケアの考え方の「パーソンセンタードケア」が印象的でした。その他にも、患者様同士の良い関係性が病棟内の雰囲気安定化やケアの円滑化に繋がること、患者様の価値観を受け止めることで信頼関係が築かれ、生活への意欲が高まったことが示されていました。これらの学びをこれからの臨床や研究に活かしていきたいと思います。

看護師 宮田

今回、院内研究で発表した演題で学会に参加してきました。初めての看護研究と学会発表で不安や緊張がありましたが、院内研究委員や病棟スタッフに協力を得ることで、看護研究の進め方や資料の構成について学びを深めることができました。学びや結果を言葉にして伝える過程は容易ではありませんでしたが、自身の看護を客観的に整理し多くの学びを得る事ができ研究発表に取り組んでよかったと感じています。今回の経験では、今後看護師を続けていくうえで、常に新しい知識や技術を学び続けることの大切さを改めて感じました。

看護師 岩永

国立研究開発法人国立精神・神経医学研究センター 松本俊彦先生による特別公演「若者における市販薬使用症の現在～その実態と対応の課題」はとても興味深いものでした。若年層における市販薬乱用の最新動向として、9割が女子高生であり、「高校生60人に1人は市販薬の大量服薬の経験がある」というデータがあり、その子どもたちは誰にも相談できずに薬物に手を出してしまっているということでした。学校や医療関係者はまず、雑談から信頼関係を作っていくことが大事ではないかとのことでした。この公演から得た学びを現場で活かしていきたいと思います。

看護のお仕事フェア

（合同説明会）

看護師 久保

2025年12月7日（日）県庁で開催された、県内の看護学生や求職者を対象とした『看護のお仕事フェア』（合同説明会）に看護師4名で参加しました。

県内の病院や訪問看護ステーションなど、59施設が参加し、当院のブースにも多くの学生が話を聞きに来られました。

「精神科に興味がある」「働きやすい職場だと聞きました」などの言葉を頂き、当院の説明にうなづく様子が見られました。道ノ尾病院の基本理念や教育体制、福利厚生など、成長支援・環境支援が整っており、働きやすい環境であることをPRしてきました。



道ノ尾病院の 家族教室について

当院には、患者様のご家族を対象とした**3つの家族教室**を用意しております。それぞれに特徴があり、ご家族の皆様が安心して学び、語り合える場となっています。



●家族教室 「こころ」

統合失調症の患者様だけでなく、ご家族も日々大変なご苦労をされていることでしょう。ご家族のサポートは、患者様にとってなくてはならないものです。しかし、ご家族からは、「どのような関わり方をすれば良いのかわからない」とか「他の人はどうしているの?」といった声がよく聞かれます。そこで、統合失調症の患者様のご家族を対象に、家族教室「こころ」を開催しております。私たち病院スタッフも、ご家族のお話をお聞かせ頂いて一緒に考えていきたいと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。

- 日 時：毎月第2土曜日（午後1時半～3時）祝・祭日は、お休みです。
- 場 所：道ノ尾病院 さくら棟1階 会議室
- 参加費：無料
- 担 当：精神保健福祉士（彼崎・塚本） / 看護師（杉本・森） / 臨床心理士（松本） / 作業療法士各担当者



●認知症家族教室 「にじのみち」

認知症家族教室『にじのみち』は、認知症のある方を介護しているご家族の皆様が集まり、スタッフとともに認知症について学び、語り合う会です。「認知症ってどんな病気だろう?」「介護を続けてきたが、そろそろ限界を感じている…」そういう方へ、当院スタッフによる認知症に関するミニ講義や、ご家族同士での情報交換や相談ができる交流会など、情報交換ができる教室です。認知症の介護を始めたばかりの方も、長く介護を続けてこられた方も、どなたでもご参加いただけます。まずはお気軽にお問い合わせください。

- 対象者：当院に入院または通院している認知症のある方のご家族
- 日 時：毎月第3土曜日（午後1時半～午後3時）
- 場 所：道ノ尾病院 さくら棟 1階 会議室
- 担 当：精神保健福祉士 吉村 / 作業療法士 堀川・吉崎



●アルコール依存症 家族会

『アルコール依存症』は、飲酒のコントロールが難しくなることで、ご本人の心身や生活を蝕むだけでなく、家族や周囲にも大きな影響を及ぼす『まわりを巻き込む病気』だと言われています。

道ノ尾病院家族会は、同じような問題で悩みご苦労をされてきたご家族が集う場です。なかなかわかってもらえなかったことも、安心してお話頂けると思います。また、他の同じ立場のご家族のお話を聴くことでいろいろなことに気付いたり、これからの生活の参考になることもあるのではないかと思います。ひとりで悩まず、同じ立場の家族の方々とともに励まし合っていきましょう。

- 日 時：毎月第1土曜日（午後1時半～午後3時）
- 場 所：道ノ尾病院 さくら棟 1階 会議室
- 参加費：無料（予約は必要ありません）
- 内 容：ご家族の現状や悩んでいることなどを、ご家族同士自由に語り合います。
ご家族に出来ることや、より効果的な関わり方などをみんなで考えます。
- 担 当：アルコールスタッフ 家族会担当：蒲池（心理）



各教室のお問合せは 095-856-1111

「長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上研修」に参加して

2025年11月8日、11月9日、11月16日の3日間 ながさき看護センターで行われました。

看護師 小野原

私は今年度の4月から認知症対応病棟に配属されました。以前も認知症対応病棟での勤務経験はありましたが、時間が経っていたこともあり少し不安を感じていました。そんな折、今回の研修会に参加する機会をいただきました。

参加者の多くは精神科ではなく一般病院の看護師であり、身体的な疾患に加えて認知症を発症する患者様が年々増加しているという現状を皆さんが報告されていたのが印象的でした。

研修会は講義とグループワークで構成されており、グループワークでは事例をもとに活発な意見交換が行われていました。患者様の現状を正確に把握することの重要性はもちろん、患者様に寄り添い、傾聴することで信頼関係を築くことの大切さを再確認する機会となりました。

今後、超高齢社会の進行に伴い、認知症の患者様はさらに増加すると予測されます。今回学んだことを活かし、より良い看護を提供できるよう努めていきたいと思っています。

看護師 田川

今回3日間認知症の対応力、実践力向上研修に参加させていただきました。私達のケアで患者様が良い状態にも良くない状態にも変化するためケアの方法をチーム内で共有することで統一した支援を行い、認知症の人を混乱させるようなかわりを避けること、できる限り情報を一口サイズにし笑顔で分かりやすく伝え、良い感情を引き出しながらケアを行っていく事の大切さを学ぶことができました。研修の学びを生かし誠実な対応ができるよう今後も行っていききたいと思います。



CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修を終えて

看護師 西山

今回、CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修に4日間参加させていただきました。

研修を受けるまではCVPPPは身体介入を伴う手技が基本だと思っていましたが、研修を受けていく中で、怒りや攻撃を鎮めるためのディエスカレーションの重要性を学ぶことができました。中でも、「掴む」や「抑える」などのワードではなく「支える」「サポートする」といった1つ1つの言葉の選び方が当事者の安心感にも繋がるという点が印象に残りました。

不穏の原因のおよそ3割は支援者側の対応であるという調査結果もあるそうです。今回の研修で得た知識と技術を他のスタッフにも共有し、互いの看護レベルを高めていけるように努めていきます。



はじめての職場参観日、笑顔いっぱいの日でした！



2025年9月6日（土）に職場の参観日を開催いたしました。

今回は初めてとのこともあり、当院に勤務する職員のお子さん・お孫さんを対象とし、24名のお子さんに参加いただきました。

体験では車いすでの移動や作業療法への革細工、胸骨圧迫、手指消毒、栄養課の献立作成や食材塗り絵、見学では外来、事務所、薬局、病棟、栄養課、歯科での歯科技工体験などあり、子供たちも楽しんでおり大盛況でした。

笑顔で帰る子供たちを見て、委員一同元気をもらい、次回開催についても意気込んでいます。

ご協力いただきました職員はじめ、ご協賛いただきました各社様へお礼申し上げます。

グラウンドゴルフ大会を開催しました

2025年10月17日、秋晴れの空の下、院内でグラウンドゴルフ大会を開催しました。当日はまるで夏のようなぽかぽか陽気に恵まれ、患者様とスタッフが多数参加されました。前日の雨でグラウンド整備やコース変更など準備に苦労しましたが、晴天の中、穏やかな雰囲気ですべての大会を行うことができました。

青空の下でのプレーではナイスショットも続出し、応援の声や歓声が飛び交う中、笑顔あふれる楽しい時間となりました。午後からは日差しが強くなる場面もありましたが、スタッフがパラソルを持ちキャディーのように日陰を作りながらサポートし、参加者の皆様に快適にプレーを楽しんでいただきました。

参加者からは「参加してよかった」「普段見られない表情が見られて楽しかった」といった声も寄せられ、久しぶりのレクリエーションは心も体もリフレッシュできるひとときとなりました。

今後も、患者様とスタッフが一緒に楽しめる活動を企画してまいります。



宝塚三田病院の作業療法士によるSST研修体験記

2025年10月14日から18日の5日間、兵庫県三田市にある、医療法人山西会宝塚三田病院様より5名の作業療法士が、当院で実施しているSST（ソーシャルスキルトレーニング）を学びに研修に来られました。

ご縁は、7月末に神戸で行われた日本精神病院協会 日本精神科医学会 学術教育研修会 作業療法士部門にて、当院リハビリテーション科科长がランチョンセミナー講師を担当した際に、宝塚三田病院の山西院長先生に座長をしていただいたことでした。そこで実地研修の依頼を受け、理事長の快諾でとんとん拍子に企画がまとまり実施する運びとなりました。5日間という短い期間でありましたが、当院OTスタッフにとっても刺激的で学びを深める貴重な時間となりました。

箴部さん

この度はお忙しい中、研修を受け入れて下さって有り難うございます。道ノ尾病院の皆様が暖かく受け入れて下さってとても充実した研修となり感謝しています。今回の研修では非常に多くの事を学べ、特にVRを利用したSSTプログラムでは、自身も参加し体験する時間を作って頂き貴重な経験が出来ました。皆様から教えて頂いた事を胸に作業療法士としてスキルアップしていきたいと思っています。

鈴木さん

この度は貴重な経験をさせていただきまして本当に有難うございました。SSTだけでなく様々なプログラムに参加させていただく中で、道ノ尾病院の先生方の姿を拝見し、なりたいた作業療法士像が明確となりました。患者さんに寄り添った作業療法士になれるよう精進していきたいと思っています。

中村さん

この度はお忙しい中、研修を受け入れて下さりありがとうございます。SSTをはじめ、様々なプログラムに参加させて頂き、大変勉強になりました。自分も一緒に参加して楽しいと感じる時間ばかりでした。SSTを当院でも導入し運営して行けるよう頑張ります。

福田さん

この度は研修を受け入れて頂きありがとうございました。SSTを始めとする様々なプログラムの内容やOTRのアプローチ方法を今後活かしていきたいと思います。可能であればまた来させてもらいたいです 笑

宮里さん

温かな受け入れと懇切なご指導をいただき、心より御礼申し上げます。短期間ではありましたが、患者さんへの丁寧な支援が息づく現場に深く感銘を受けました。作業療法・SST・デイケアなど、多彩な実践から得た学びを今後のより良い支援につなげてまいります。



「ルーシーカンパニー」コンサート開催のご報告

11月27日（木）、当院にて ルーシーカンパニー の皆様によるコンサートが開催されました。

プログラムでは「ルパン三世テーマ曲」「真っ赤な太陽」「マツケンサンバ」「青い珊瑚礁」「いのちの歌」など、アニメソングからバラードまで幅広いジャンルの曲が披露されました。患者様やスタッフは手拍子をしたり体を揺らしたりしながら、音楽に包まれた楽しいひとときを過ごしました。

中盤には、患者様・スタッフ全員が鳴子を手に持ち、演奏に合わせて音を鳴らしながら参加。会場が一体となり、大きな盛り上がりを見せました。

「とても上手だった!」「楽しかった!」「また来年も来てね」「懐かしい曲ばかりでした」などの感想

も寄せられ、音楽を通して心身ともに元気になれる素晴らしい機会となりました。

ルーシーカンパニーの皆様、素晴らしい演奏と楽しい時間をありがとうございました。

レク委員 松尾



長崎市障害者アート作品展に出展！



2025年10月16日から19日まで長崎県美術館で行われたアート作品展に今年はデイケアから51点を出展しました。

その結果、優秀賞2点(毛筆・作文)、佳作4点(毛筆・陶芸・詩・手芸)を受賞しました！

10月17日(金)には34名のメンバーが長崎県美術館まで見学に行き、多くの作品を見て来年に向けての意欲を膨らませていました。

総合受付横のロビーに展示しております。ご来院の際はぜひご覧ください。

秋のお茶会

2025年11月21日(金)、毎年恒例の秋のお茶会を実施しました。今回は天候に左右されずに楽しめるよう、ツワブキの花や柿を飾り秋の風情を感じられる空間づくりを行い、デイケア室内で実施しました。手作りの茶碗でいただくお抹茶と白あん入りのお饅頭で、今年も秋を感じるひとときを過ごしました！



デイケア室内



2025年12月24日(水)にクリスマス会・忘年会・誕生会を開催しました！

12月の誕生者の紹介を行ったあと、クリスマスムード満載のウクレレの演奏を聴きました。その後はスタッフによるグループ対抗戦！早口言葉対決や片足立ち対決、コーラの早飲みなどなど。

最後にスタッフによる変面ショーで1月から12月までの出来事を笑いを交えて振り返りました！

アルコールデイケア活動紹介



当院のアルコールデイケアでは独自のイベントを行っています。

金曜日に行っている「えんじょい☆たいむ」の中で、11月にはコスモス見学へ行ったり、12月にはクリスマス会を開催して楽しみました。

スタッフはARPオリジナルTシャツを制作し、チーム一丸となって今後もより良い活動を目指してまいります。



©VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所「ふれあい」
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーション「かいこう」
- 訪問看護ステーション「すみ香」
- ヘルパーステーション「にじいろ」
- 相談支援事業所「にじいろ」 ○在宅支援事業所「にじいろ」
- れいんぼうハウス滑石 ○住宅型有料老人ホーム「ほの香」

社会福祉法人新生会

- 障害者支援施設「虹が丘学園」
- ヤマザキデイリーストア
- 特別養護老人ホーム「望星荘」

虹ヶ丘商会

- ヤマザキデイリーストア

パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末 (iPhone・iPad)

は「push7」アプリをインストールし、受信通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



道ノ尾病院 公式
Instagram



スマートフォンの方は
こちらから



【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索